



7/1



6/30

「おおむら音頭体操」の体験会をコ
レシモ広場で開催しました。楽しみな
がら健康づくりに役立ててもらおう
と、「大村音頭」の曲に合わせて、
ストレッチバージョン、筋トレバー
ジョンの2種類を市が作成。買い物
客などが立ち
寄り、スタッフ
に合わせて、体
操を体験。おお
らんちゃんも
一緒になって
身体を動かして
いました。



みんなで楽しく健康づくり

「男女共同参画月間」にあわせて
「ハートバルまつり」を開催しまし
た。利用団体による活動発表や体験
講座、雑貨販売などの多彩なイベン
トに、会場は多くの人で賑わいまし
た。また、男女共同参画について考
える講座も開
催し、性別に関
係なく誰もが
能力や個性を
発揮できる社
会づくりに理
解を深めてい
ました。



誰もが住みよい社会へ



7/5

令和4年度の開業に向けて 大村市新幹線駅名等検討委員会

新幹線の駅名などを検討するため、市民や有識者で構成された「大村市新幹線駅名等検討委員会」が開催され、市長から委員に委嘱状が手渡されました。令和4年度に開業する九州新幹線西九州ルートの新大村駅(仮称)とJR大村線の車両基地駅(仮称)の駅名について提案を受け、今年度末までにJR九州へ駅名を要望することとしています。



6/24

大村の子どもは大村で育てる OMURA未来塾開講

地域と協力し、放課後の学びの場を提供する「OMURA未来塾」を玖島中学校で開設しました。放課後における生徒の安全・安心な居場所を提供し、学習習慣の確立や基礎学力の定着を図るために今年度から実施します。参加した生徒たちは、学年ごとに分けられ、退職教員や大学生による指導を受け、学習に取り組んでいました。

7/10



姉妹都市の米国サンカルロス市から「ホームステイ事業」で学生4人が本市を訪れました。この日は、市長を訪問。7月8日から17日までの滞在期間中、市内の視察や高校訪問などを行いました。ホームステイの学生は、それぞれのホストファミリーとの交流を通じて、日本の文化に触れ、理解を深めていました。

ホームステイで深まる交流



7/7



「社会を明るくする運動 中学・高校生（大村・東彼杵地区）弁論大会」をさくらホールで開催しました。日ごころ感じた思いを言葉に託し、身振り手振りを交えながら発表する姿に、会場は熱気で溢れていました。中学生の部では、西春菜さん（西大村中3年）、高校生部では、塚根瞭侑さん（大村城南高2年）が最優秀賞に輝きました。

若者の声、ホールに響く



おおむら \ ニュース /



7/8

早期4車線化の実現を目指して 国道34号大村・諫早間整備促進期成会総会

大村・諫早両市の官民で組織する「国道34号大村・諫早間整備促進期成会」総会が開催されました。総会では、待望の新規事業化となった国道34号の大村市与崎から諫早市本野間について、早期4車線化の実現に向けて、両市がさらに連携し、国や県などの関係機関に強く要望していくことを確認しました。

7/5

新たな雇用創出に期待 第2大村ハイテクパークに企業立地

市がかねてから整備を進め、今年4月に竣工した第2大村ハイテクパークに、自動車のシートベルトやヘッドランプの部品などを製造する「嶋本ダイカスト株式会社」が、立地発表を行いました。同社は、兵庫県神戸市に本社を置き、神戸市と本市の工場で操業中です。本市の新工場は令和2年9月の操業を目指し、100人の雇用が予定されています。

